

手話でひらく☆未来フェスタ ～未来へ広がる手話の輪～

手話は、声に出さない“ことば”。聞こえる人も聞こえない人も、手話を通じてつながる一日を楽しみませんか？「大和郡山市手話言語条例」制定10周年を記念して、これまでの取り組みを振り返るとともに、みなさんに手話や聴覚障害への理解をさらに深めてもらえるよう、演劇・講演・手話ソングなど、多彩なプログラムを開催します。

日時=1月25日(日)12時30分～16時15分

場所=DMG MORI やまと郡山城ホール(大ホール・ロビー等)

オープニング演劇

「戦国に届いた未来のことば～言葉は声だけじゃない～」

出演:県立ろう学校・県立郡山高等学校 演劇部

記念講演

「あきらめない！垣根のない社会をめざす挑戦を続けて」

講演:ろう者の医師 今川 竜二さん

手話ソング

「翼をください」

出演:市手話サークル手和の会

市職員パフォーマンス

大和郡山市紹介

出演:市職員・市社会福祉協議会職員

ロビーでは、手話体験コーナー、福祉ショップのグッズ販売も！

家族で楽しみながら、手話の魅力にふれてみましょう。



問 障害福祉課(内線540)

第24回人権ショートレター入賞作品発表

人間らしく生きること、差別や偏見に対して感じたこと、お互いの個性を認め合うことなど、「人権」を大切にする気持ちを手紙にしてもらいました。全国からいただいた2,105通の応募作品のうち最優秀賞の作品を紹介します。(優秀賞・佳作はタイトルのみ。本文は市HPでご覧ください。)



小・中学生の部

最優秀賞

「SNSと人権～SNSとかで暴言を吐いている人に向けてメッセージ！～」

顔の見えない相手になら何を言ってもいいと思っているのですか。顔の見えない相手はいないのと同じですか。いいですか。相手の顔が見えていないのは、あなたに想像力がないからです。あなたに優しさがないからです。

◆優秀賞(3作品)「言葉の重さ」「知ることから始めよう」「あの子のリズム」

◇佳 作(5作品)「お兄ちゃん」「救いの手」「そのまでいい」「車いすをおす私」「君との約束」



高校・一般の部

最優秀賞

「愛娘」

発達障害の娘に、人は言う、「可哀想だね」と。私は答える「はい、可愛いです」と。「可哀想」は変換される。「可愛い、そう？」と。強くなった。泣かなくなった。「辛」を「幸」に変換する方法を探しながら。

◆優秀賞(3作品)「10年前の言葉」「私の自慢の父」「大丈夫?」という一言の力

◇佳 作(5作品)「席を譲ってくれたあなたへ」「両親と良心」「何色でもいいんだよ」「おもいやりのある行動」「ちがってもいい」

問 人権施策推進課(内線332)